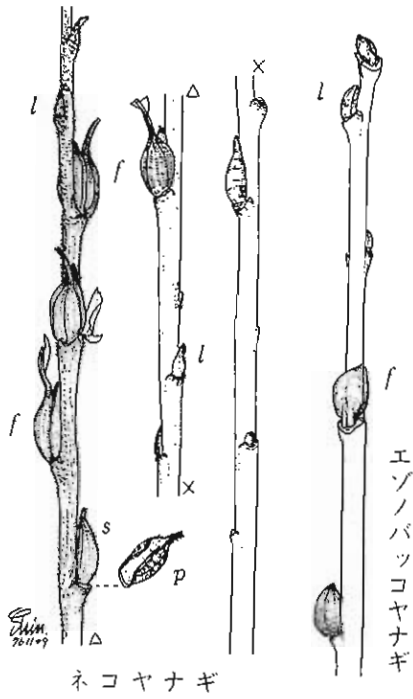


ネコヤナギの冬芽



ネコヤナギ

エゾノバッコヤナギ

f: 花芽, l: 葉芽, s: 芽鱗, p: 葉柄基部

道東支場から、10月末に送られてきたヤナギ属5種を同定したとき、道北のヤナギ類はもう黄色くなって落葉していたのに、道東のそれらはまだ緑色を残して、かなり着葉していた。それらの冬芽と一年生枝を見ていたら、ネコヤナギの冬芽は2枚の鱗片をもつことに気付いた。ヤナギ属は1枚のはずなのにと、よくよく見たら、外側の1枚は葉柄（基部）であって、葉身だけが落ちたのだった。だから、葉痕がない。これはおもに花芽に限られ、葉芽にはあまり見られない。2重のコートをきた花嫁さんということらしい。このコートが冬中ついているのか、途中で脱落するのか、興味がある。

なお、ふつうにいう猫柳は花穂の最も太く大きいバッコヤナギないしはエゾノバッコヤナギを指し、葉芽も円い。

(道北支場 斎藤新一郎)